

## 令和5年度 事業計画

### 1 基本方針

労働力不足の原因となる人口減少や少子高齢化は、我が国の最重要課題であり、誰もが何歳になっても働ける、「生涯現役社会」の実現を求められています。高年齢者の社会参加事業において、シルバー人材センター事業はその中心的役割を担っていますが、新型コロナウイルス感染症拡大などの影響で、近年は当センターを含め全国的に会員数や実績などが伸び悩んでいます。

しかし本年5月から新型コロナウイルス感染症が5類感染症へ移行することになり、ウィズコロナが本格化することを踏まえ、令和5年度は普及啓発を積極的に行い、会員の強化、発注者の獲得を目指します。

特に国が提唱をしている「高年齢者等のデジタル活用」を足掛かりに、関係機関と綿密に連携を取り、センターのデジタル化の推進を図ることは、会員や発注者、市民への情報発信につながります。

一方、本年10月からインボイス制度は施行されますが、厚生労働省から将来的な対応策として提案された「新しい契約方式」や、シルバー会員にも関わる「フリーランス保護新法」の制定など、今後の動向を注視して対応をする必要があります。

また、今年度の中で事務局及びばーば倶楽部が移転をするため、新しい拠点でより良い事業が展開できるように努めます。

### 2 事業実施計画

#### (1) 就業機会の確保及び提供する業務

##### ア デジタル化の推進による普及啓発と就業機会の確保

(ア) 全国シルバー人材センター協会（全シ協）や神奈川県シルバー人材センター連合会（県シ連）、当センターの基幹システムを手掛けているNRI情報システム（NRI）と連携を図り、ホームページをリニューアルして、最新情報を常に発信できる体制を整えます。

(イ) NRIのシステムを活用してホームページ上からの受注や、発注者との情報交換ができるように研究します。

(ウ) 会員へのお仕事紹介や手配業務などをホームページ上で確認したり、SMSメールを活用するシステムの構築に努めます。

##### イ その他の普及啓発と就業機会の確保

(ア) 職域への就業開拓を訪問等により行います

(イ) 適正就業の推進（長期就業の是正・就業交替・ワークシェアリング）により就業機会の確保をします。

- (ウ) 「就業相談」「体験就業」やセンター広報誌の「お仕事紹介コーナー」の活用等により、公平な就業機会の提供をします。
- (エ) 新しい活動拠点での子育て支援事業の充実を図ります。

(2) 生きがいの充実及び社会参加の推進を図るための事業

- ア 入会説明会を毎月第3水曜日に開催します。また、入会希望者の状況により臨時の入会説明会の開催等臨機応変な対応をします。
- イ デジタル対応相談窓口を設置して、会員及び市内在住の高年齢者等のデジタルを通じた社会参加を促進します。
- ウ 会員のセンター行事への参加を促進し、退会を抑制する効果がある、ポイント制度導入の研究をします。
- エ 自主事業（独自事業）について、活動拠点の移転により、改廃が必要になる事業が発生しますが、新規事業の創設を含めて積極的に推進します。

自主事業	内 容
はればれ市	農産物の販売
刃物研ぎ	刃物研ぎ
パソコンヘルプデスク	パソコン教室
自然薯の会	自然薯栽培の研究と実施
農地活用の会	放棄農地での農耕研究

(5事業)

(3) 派遣事業及び職業紹介事業の推進

- ア 一般労働者派遣事業を促進するために、就業職域等の調査を行います。
- イ 職業紹介事業を実施するために、ハローワーク等との連携をします。
- ウ 事業実施のために職員を研修会・講習会等に派遣します。

(4) 知識及び技能の付与を目的とした講習

- ア 技能習得講習会（安全講習会は別途開催）

講習会名	内 容	時 期
子育て支援講習会	子供との接し方について（仮）	10月
除草作業講習会 （一般参加可）	草取り、清掃	6月・7月・9月・ 10月・11月

- イ 県シ連・足柄地区連絡協議会主催の講習会の情報提供をします。

(5) 前4号のほか、多様な就業機会の確保及び地域社会、企業等における能力の活用  
ア 足柄地区シルバー人材センター連絡協議会との連携を図り、各センター間での就業融通の研究、他センター会員等との親睦事業や、単独センターでは実施が  
出来ない事業への参加をします。

イ 市役所と連携し、様々な分野の市民活動やボランティア活動、技術や経験を  
生かし、地域の活性化につながる活動の支援をします。

(6) その他目的を達成するための事業

ア 安全管理委員会を活用した安全就業の推進をします。

イ 安全管理委員や事務局職員による安全パトロールを実施します。

ウ 安全作業に係る講習及び安全健康講習会の開催をします。

エ 全シ協・県シ連等と連携を取り、インボイス制度、新しい契約方法、  
フリーランス保護新法への対応をします。

オ 各種同好会活動への協力をします。

### 3 事業目標

(1) 会 員 数	253人
(2) 受 託 件 数	1,700件
(3) 就業延人員	2,100人日
(4) 就 業 率	90%
(5) 契 約 額	105,936,000円